

学校評価結果公表シート ー 苫小牧聖ルカ幼稚園 ー

1. 園の教育目標

<p>『神おさな児を守りたもう』 キリスト教の精神に基づき、大きな恵みの中でゆったりと安心と安全な生活を送ることが出来るようにと望んでいます。 毎日の生活の中で遊びを通して、他人を思いやる豊かな感性が育つようにと望んでいます。 明るく、元気に、のびのびと育ててほしいと望みます。</p> <p><保育方針> ・乳幼児に優しい環境の構成を整える ・豊かな感性を育てる ・他人を思いやる優しい心を育てる</p>
--

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画

<ul style="list-style-type: none"> ・『三本の柱』の充実 食育「ごはんちゃん」…旬の食べ物、料理、食の栄養と健康、命に生かされることへの感謝。 自然教育「森のようちえん」…神様が創造された被造物への感謝、命の循環を知る、季節を感じる。自然の美しさと脅威を知る。 情操教育「こども聖歌隊：スマイル」…歌を通してイエス様の教えを知る。音楽に親しみ、リズムや音を感じて表現することを通して感性を養う。 ・家庭のような温かい保育環境と手厚い保育…一人ひとりを見守り理解を深め、寄り添った保育を行う。 ・園内研修の充実…質の良い保のための研修内容を選んで受講。各クラス担任の思いをチームで分かちあう時間を大切にする。研修で学んだことを全体で共有する。 ・小学校との連携

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組み状況
園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育目標を基に編成している	・キリスト教保育を通して他者を大切に愛しむ心を育み、子どもたちの実態を踏まえながら主体的な活動となる保育内容を計画的に進めている。
乳幼児期にふさわしい指導計画を作成している 幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に指導計画を作成している	・毎日振り返りを行い、子ども一人ひとりの実態把握に即した指導計画を作成し、主任、園長もその都度確認。 ・職員同士の連携を図りながら子どもの成長に見合った保育展開を行っている。課題が見つかった際は改善策を検討して修正している。
安全で清潔感のある環境構成をしている	・保育室やトイレ、廊下など定期的に清掃を行っている。 ・感染防止、衛生面を保つよう適宜消毒を行なっている。
幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がけている	・一人ひとりの個性を認め、よさに目を向ける意識を身につけるよう心掛けている。

保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努めている	・今日の出来事、保育の中で幼児の成長した姿や良い姿、時にはそうではない姿についても必要に応じて伝え、一緒に喜び合ったり悩んだりしながら信頼関係を築くことに努めている。
地域や社会とのかかわりをもつように努めている	・子ども聖歌隊活動や大きな行事における礼拝でお捧げされた献金は、必要とされる子ども支援のために寄付している。 (年4回…苫小牧おもちゃギャラリー、苫小牧フードバンク、ユニセフ協会ガザ人道危機緊急支援募金、ウクライナ支援募金など)
保育者としての専門性を高めるための各研修会に積極的に参加している	・北海道私立幼稚園協会主催の研修、聖公会北海道学園主催の研修、保育連盟協議会主催の研修等に参加している。
人事管理・財務管理を適正に行っている	・公認会計士、社労士の監査を受け、適正に行っている。

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
2号認定の受け入れ	既に定員枠を超えていたため新2号認定として1号認定対応の中で協力いただきご不便をおかけしていましたが、次年度(2024年)より2号認定枠を広げるので、2号認定園児を増員し安心して保育を受けられるように応えていけるようになる。それに伴う職員体制もしっかり見直す。
1号認定の預かり保育	2号認定枠を広げたことで午後保育園児増となるため、1号認定については保育の必要性が認められる場合において受け入れていく。
研修の充実	年度初めに園内研修の年間計画を立てて確実に実施する。 園の課題改善に即した研修内容とする。 すぐ保育に活かせる研修内容とする。 より多くの職員が研修を受けられるように、効率的な人員配置の体制を組む。 園内・園外いずれの研修も当園の保育向上につながる内容の研修を厳選する。またそれを職員全体で共有する。
業務の効率化	すべての保育室にWi-Fi環境を整備し、ICT化推進途上。ゆっくりした歩調で改善しつつあるが、まだ課題は残っており、ネット上の安全管理も含め、更なる改善に努めていく。 シフト調整も役割分担を明確にしながら見直していく。
保育参観の提供	参観希望の声を多くいただき前向きに検討していく。ただし、2・3号認定園児が多い中で休みが取れる保護者は限られてくることを考えながら参観方法を検討しなければならない。